

令和4年1月19日

関西おもしろ企業事例集 KIZASHI Vol.16
今、スポーツが熱い～スポーツシーンを支える関西の中小企業～編
の公表について

今回の Vol.16 では、昨今、注目をみせる「スポーツ」をテーマに、スポーツシーンを支える関西の中小企業について着目しました。OEM 脱却を見据えた独自ブランドの展開や、素材や金属加工、システム開発など自社のコア技術からの応用先として、スポーツ市場に参入し事業展開している管内の事例(11 事例)をとりまとめました。

【公表事例 (11 件)】

	企業名	所在地	概要
1	株式会社アクラム	奈良県 広陵町	昇華転写プリントをコア技術として、オリジナルチームウェアブランドを展開
2	井上スタレ株式会社	大阪府 河内長野市	老舗すだれメーカーが金属加工技術を用いてスケートボード業界に参入
3	株式会社エヌジーシー	大阪府 泉佐野市	体操クラブが国際大会使用の競技床運動マットを自社開発
4	オリエンタルシューズ株式会社	奈良県 大和郡山市	産学連携で開発したウォーキングシューズ ヒト本来の歩き方で足を守る
5	桑野造船株式会社	滋賀県 大津市	国内ボート総合メーカー メイド・イン・琵琶湖を支える元アスリートたち
6	コマ株式会社	大阪府 松原市	足にこだわるあらゆる人々へ、3次元立体構造靴下など最良の靴下を提供するメーカー
7	サカセ・アドテック株式会社	福井県 坂井市	『三軸織技術』で宇宙産業から高性能なスポーツ用品へ
8	株式会社ビジョナップ	京都府 京都市	見るチカラを育て鍛えるトレーニングメガネでスポーツ力向上と健康長寿に貢献
9	株式会社兵左衛門	福井県 小浜市	折れたバットから箸を作り、バット素材アオダモの植樹育成活動を続ける老舗漆箸メーカー

【参考】

「関西おもしろ企業事例集～企業訪問から見える新たな兆：KIZASHI～」について

近畿経済産業局では、近畿2府5県における経済産業施策の総合的な窓口機関として年間1000件以上、地域企業の実態把握や施策立案のための企業訪問を行っています。

様々な特色を備えた企業が多数立地する関西では、地域のエンドユーザーの目や耳に届くことが少ない加工産業や部品製造、OEM生産をはじめ、インバウンド対応や独自技術で意欲的に新しいことにチャレンジしている「おもしろい」企業の活動に出会えます。

当局では、そのような企業の取り組みについて、2025・2030年の先、将来を見据えた変化の「兆し」を含めて紹介するため、「関西おもしろ企業事例集～企業訪問から見える新たな兆：KIZASHI～」を公表しています。



<https://www.kansai.meti.go.jp/1-9chushoresearch/jirei/jireitop.html>

(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 総務企画部 中小企業政策調査課長 前原

担当者:松本、津田、安江

電話:06-6966-6057

FAX :06-6966-6073

